



けやき



No.5

甲府市立南中学校
令和4年9月29日
文責 渡邊 豪

第53回 みんなみ祭開催

第53回みんなみ祭を9月16日（金）、17日（土）に開催しました。今年度はコロナ対応をしながらの3回目のみんなみ祭となり、3年ぶりに分散方式での保護者参観を行いました。行事のみならず、段階的にウイズコロナ時代に対応した教育課程の実施を行っているところです。しかし、学校における最優先事項は、生徒の安全・安心の確保であり、これまで同様、家庭におかれましても基本的な感染防止対策の継続をお願いします。以下は開祭式での校長挨拶です。



皆さんおはようございます。今日ここに、第53回みんなみ祭の開祭式を無事迎えることができ、とても安堵しています。というのは、7月からの第7波と言われる、新型コロナの爆発的な感染拡大により、これまでに経験のない多数の感染者が出ていたからです。しかし、現在のオミクロン株の性質もあり、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出されることなく、基本的な感染対策を丁寧に行いながら、できる範囲で通常の生活に少しずつ近づけているのが現在の状況です。みんなみ祭についても、3密を避け、運動時以外は原則マスクを着用し、換気を十分に行うなど、基本的な感染対策を行いながら、できる限り通常の活動ができるように生徒会本部役員を中心に工夫をしながら取り組んできました。そのような中、今日みんなみ祭を予定どおり開催することができ、私自身とても安堵している、ということです。

みんなみ祭に向けて取り組みを行いながら、学級、学年の仲間関係をさらに深める努力をし、温かくて、安心でき、互いに高め合うことができる学級や学年になることを目指してくれたと思います。この2週間、3年生を中心により良いものを作り上げよう、南中の伝統を受け継いでいこう、という熱い思いをもって皆さんが取り組んでいる姿を見るのが、私自身南中職員としての喜びであり、誇りでもありました。全校生徒が一丸となって活動できる南中学校。代々先輩から後輩に伝統が受け継がれ、より良いものになっていく。そういう南中に誇りを持ち、皆さんが南中をさらに愛し、南中が皆さんにとって、今以上に大切な存在になるような活動ができたと思います。

第53回みんなみ祭のスローガン「最大火力」のとおり、南中生全員が最大限の力で取り組んできました。仲間と心をつなげて、学級、学年、縦割り、学校全体で作り上げてきたものを、この2日間で精一杯発揮し、表現して欲しいと思います。そして、取り組んできた一つ一つのことを、南中生全員の宝として、みんなみ祭後も大切に持ち続けていけるようなみんなみ祭になることを期待して、私からの話とします。2日間頑張ってください。

みんなみ祭文化部門

1日目16日は、文化部門で次の内容を行いました。

- 第53回みんなみ祭開祭式
- 文化部門開会式
- 1年学年発表「猫に未来はない!？」
- 2年学年発表「TEMPER BOX」
- 3年学年展示
- 部活動展示：イラスト美術部、家庭科部
- 吹奏楽部発表
- 3年学年発表「あの日見た青い空」
- 文化部門閉会式

文化部門の各学年発表では、学年ごとに用意した劇の台本を丁寧に解釈し、その背景も含めて表現しようとした努力と工夫の跡が感じられ、どの学年も素晴らしい劇を発表してくれました。

1年生は、初めての学年劇とは思えない素晴らしい出来映えでした。2年生は、今年度後半から学校の中心になる、という思いが表れた発表でした。3年生は、「さすが」と誰もが思う完成度で、下級生に南中の学年劇の伝統の素晴らしさと重みを十分に伝えることができる内容でした。



部活動の発表では吹奏楽部が発表を行い、吹奏楽コンクールで演奏した曲をはじめ、生徒になじみのある曲を演奏し、会場では手拍子が起こり全校生徒が楽しめる時間となりました。イラスト美術部、家庭科部の展示では、部活動の中で制作



した作品を展示しました。どの作品も丁寧に仕上げられていて、素晴らしい内容でした。3年学年展示では、「修学旅行記」と体験学習で作成した「京扇子」が展示されました。「修学旅行記」は初めて chromebook を使用して制作したもので、とても素晴らしい出来映えでした。



みんなみ祭体育部門

2日目17日は、体育部門で次の内容を行いました。

- 体育部門開会式 午前の部 ○綱引き ○UFO 午後の部 ○縦割り応援
- 全員リレー ○体育部門閉会式（全校応援） ○第53回みんなみ祭閉会式

体育部門当日の朝はくもりで、熱中症の心配をすることなく体育部門をスタートさせることができました。これまでの練習の成果を本番で発揮しようと、クラスや縦割り全員が集中し、エネルギッシュに躍動する様子から、見ている側も思わず力が入る場面が多々あり、とても見応えのあるものでした。感染対策を行いながらも、本来の中学生としての生き生きとした表情や姿が随所に見られ、時間をかけて取り組んできた価値があった、と思わせてくれる内容でした。



全員リレーが終わり、閉会式を行いました。閉会式では全校応援を行い、これまでの取り組みとこの2日間の全校生徒の頑張りを全員でたたえると共に、これからの南中のさら



なる前進を願って全校生徒で応援を行いました。全校生徒の思いがこもった素晴らしい応援で、南中の洋々たる前途を予感させてくれるものでした。一人一人が限られた時間を精一杯楽しんでいる様子が伝わってきて、とてもすがすがしい気持ちになった体育部門でした。



伝統を受け継ぐ

令和2年3月に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国一斉に学校の臨時休業措置がとられ、甲府市の小中学校では3月3日の午後2時に下校し、臨時休業に入りました。その後感染拡大が見られたため、予定では4月6日が入学式でしたが、4月19日に延期となり、さらに5月10日に再延期され、さらなる延期で5月24日ようやく入学式を行うことができました。春休みも含めて3ヶ月近い臨時休業措置となりました。3度にわたる延期の後、5月24日に行われた入学式で入学したのが今の3年生です。もちろん2年生、1年生も小学校の始業式は5月25日に行われ、2ヶ月遅れての新学期のスタートになりました。



その後も新型コロナの感染防止対策のため、多くの学校行事が縮小または中止となり、みんなみ祭も従来のように開催できず、南中の伝統を受け継いでいけるのか、ということをお心配する声も聞かれました。

しかし、昨年度の3年生の思いを引き継いだ現3年生が、コロナウイルスの性質の変化も踏まえた感染防止対策を行いながら、応援、演劇を含めて2日間でのみんなみ祭を成功させ、伝統を受け継ぎました。残るは合唱ですが、11月に「みんなみ合唱祭」を実施する予定で、感染対策を行いながらどのように合唱練習を進めていくのか、などについて現在検討しているところです。無事実施できることを願っています。